



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 DIE WITH ZERO

ビル・パーキンス 著 ダイヤモンド社

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2023年11月1日 Vol. 253

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

老後の生活

数年前に、金融庁の金融審議会「市場ワーキング・グループ」による「老後20～30年間で約1,300万円～2,000万円が不足する」という試算を発端に物議をよんだ所謂「老後2,000万円問題」。私たちの老後の生活を考えるうえで“年金”は老後資金の大きな柱となります。

現在、平均寿命が伸びて「人生100年時代」と呼ばれる超高齢社会へ突入し始めています。そんな中、退職給付額(退職金)は減少傾向にあり、企業規模が小さくなるほど、退職給付制度が用意されている割合も低くなります。私も今年還暦を迎え、将来の“年金”のことはとても気になります。その“年金”ですが、2024年度以降に大きな制度改革が予想されています。

現在の国民年金から将来の国民年金は下記のようになっていくと予想されています。掛けた分の元を取るということを考えてみると、現在は10年間(75歳)貰うことができれば元を取ることが出来ますが、将来の案で見てみると15年間(85歳)貰うことができれば元を取れることになります。平均寿命や健康寿命も頭の中に考えておかなければいけません、何より健康で

【現在の国民年金】

- ・払込期間 20歳～60歳 (40年間)
- ・払込金額 16,590円×40年間＝約800万円
- ・支給開始 65歳
- ・受取金額 約78万円/年

【将来の国民年金】

- ・払込期間 20歳～65歳 (45年間)
- ・払込金額 16,590円×45年間＝約900万円
- ・支給開始 70歳
- ・受取金額 約60万円/年

働ける環境を作っておかなければ老後の生活は厳しい状況になっていきます。また、デフレからインフレへと変わってきている経済状況を考えると、少しずつでも貯蓄をしていかないと考えるのは自然なことになります。

年金財政が厳しい中で支払う人を増やしていこうという案が出ています。その一つがパート勤めの人にも社会保険を払ってもらうことです。現在の規定は、①週の労働時間が20時間以上、②月の賃金が88,000円以上、③雇用期間が2カ月以上、④学生でないこと、⑤パートの所属する社員数が100名超の①から⑤のすべてに該当する場合には社会保険を支払うこと



になっています。その中で⑤の100名超が50名超に変更されると言われています。年収の壁の問題も出てきますが、中小企業の会社経営は益々大変になると予想されます。なかなか厳しい老後が待っていそうです。

血液型と病気

血液型で病気リスクが半るようになっているという記事を目にしました。血液型で性格診断をするという話はよく聞きますが、科学的な根拠はなく日本でしか話題になりません。しかし、ここ数年の研究で、血液型によって病気のリスクが異なることが明らかになってきました。

血液型はカール・ラントシュタイナーという病理学者によって、1900年に発見されました。この発見により血液型不適合による輸血事故を減少させ、輸血を発展させるきっかけとなりました。血液型と病気のリスクを見てみると、A型の人の胃がんのリスクは、最もリスクの低かったO型の人と比べて1.2倍でした。また、B型の人は最もリスクの低かったO型の人と比べて、膵臓がんのリスクが1.72倍高いと報告されました。さらにB型の人は、O型に比べ2型糖尿病になる頻度が1.21倍であると報告されています。AB型の人は最もリスクの低かったO型の人と比べて、脳卒中のリスクが1.83倍高いそうです。さらに、AB型の人は、認知症になる可能性がO型の人と比べ約1.82倍とされています。このように、O型の人は、A型、B型、AB型と比較して、様々な病気になるリスクが低いことは事実のようですが、その明らかな理由はわかっていません。しかし、O型の人は、大量出血するような大怪我をした場合、血が止まりにくく死亡率が他の血液型の倍以上です。こんな知識を理解して健康を見直す機会にしたいものですね。



【座右の銘にしたい名言】



神様は私たちに成功して欲しいなんて思っていない。ただ、挑戦することを望んでいるだけよ。

マザー・テレサ (カトリック修道女、ノーベル平和賞受賞)